



市報

やまぐち

2003 8/1 NO.1345

AUGUST

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

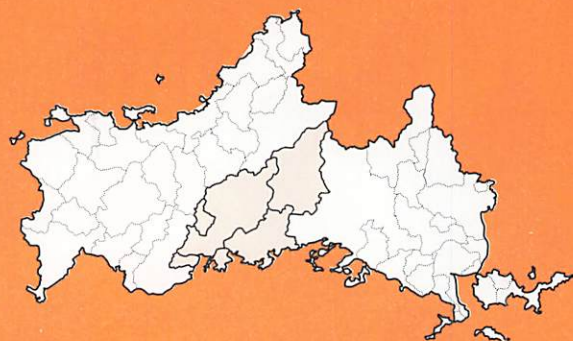
あなたもいっしょに考えてみませんか
2市4町県央部合併

特集 ビッグウェーブやまぐち
「市民委員会ただいま活動中」



ませんか？

秋穂町・徳地町・阿知須町) 合併



新市にふさわしい名称を考えてみませんか

2市4町の合併により誕生する新市にふさわしい名称を募集します。

◇募集期間 8月1日（金）～9月16日（火）

◇募集基準

- 漢字、ひらがな、カタカナにより表記された名称
- 名称の理由が明確なもの
 - ・2市4町が地理的にイメージできるもの
 - ・住民の理想や願いにちなんだもの
 - ・地域の特徴を表すもの
 - ・歴史・文化にちなんだもの
 - ・地域を対外的にアピールできるもの
 - ・その他新市としてふさわしいもの など

※現在の2市4町の名称も新市の名称として使えます。

◇懸賞（応募された方の中から抽選で次の賞が贈られます）

【名付け親大賞…1名】

新市の名称に採用された応募者の中から

10万円分の商品券と地域特産品

【新市名賞…5名】

名付け親大賞の抽選にもれた応募者の中から

1万円分の商品券と地域特産品

【応募記念品…500名】

応募作品の中から

500円分のオリジナルギフトカード

◇応募方法

専用応募用紙（写真下：山口県央部合併協議会日より、市報8月1日号とともに全戸配布）、ハガキ、封書、FAX、ホームページで応募できます。

※持参の場合は、直接事務局にお持ちいただくか、市役所1階受付、各出張所・公民館に設置の投函箱に入れてください。

※どなたでも応募できます。

※応募は、1人1点とします。

◇応募時の記載内容

●新市の名称（ふりがな）

●名称の理由

●住所、氏名（ふりがな）、電話番号

※電話番号を除くすべての項目について記入がないものは無効となります。



■応募先・問い合わせ

山口県央部合併協議会事務局

〒753-0070 白石1丁目2-7 ☎934-6214 922-8520

<http://www.kenoubu-gappei.jp/>

協議報告

■第5回山口県央部合併協議会

（7月10日、小郡町公民館）

第5回協議会が開かれ、「地方税の取扱い」、「使用料、手数料等の取扱い」、「補助金・交付金等の取扱い」、「慣行の取扱い」についての協議が行われました。

「地方税の取扱い」では、住民税の均等割の金額について、合併の年度及びこれに続く3年度の間は現行どおりとし、その後、4町の均等割の金額を2市に合わせるなど確認されました。

また、「使用料、手数料等の取扱い」では、税務、住民窓口関係手数料について、100円を基本として調整することなどが確認されました。

■第3回新市の事務所的位置選定小委員会

（7月16日、小郡町ふれあいセンター）

第3回小委員会が開かれ、前回の会議で決定した総合支所方式の考え方についての協議が行われ、協議の結果、2市4町の既存の庁舎のいずれかを合併後の本庁とすることを前提に協議することなどが確認されました。

あなたもいっしょに考えてみ

2市4町 (山口市・防府市・小郡町・

県央部

市民の目線で考える 県央合併フォーラム

8月23日 (土)
山口市市民会館小ホール
入場無料

県央部合併について、市民のみなさんに直接市長から経過報告や合併への思いを伝えるとともに、基調講演やパネルディスカッションを行い、市民の目線に立って県央部合併を考えます。

◇日時 8月23日 (土)

【開演】午後1時30分～4時30分 (開場午後1時)

◇場所 山口市市民会館小ホール
(中央2丁目5-1)

◇主催 山口市

※入場無料

◇内容

午後1時30分 開会あいさつ

午後1時35分 基調講演

～2時45分 『21世紀の自治行政』～その展望と課題～

(財) 地方自治研究機構

理事長 石原 信雄 氏

午後2時45分 県央合併に関する報告

～3時15分 山口市長 合志 栄一

(休憩)

午後3時30分 パネルディスカッション

～4時30分 『市民の目線で考える 県央合併』

●コーディネーター

吉村 弘 氏 (山口大学経済学部教授)

●パネリスト

村岡 満 氏 (山口文化協会顧問)

福田 禮輔 氏

(大内文化のまちづくり協議会会長)

河野 康志 氏

(第8回アートふる山口実行委員長)

吉富 崇子 氏

(山口市消費生活研究会会長)

渡辺 洋子 氏

(NPO法人山口せわやきネットワーク理事)



■石原信雄氏プロフィール

【職歴等】

昭和27年 3月 東京大学法学部卒業

4月 地方自治庁採用

昭和45年11月 自治省市町村税課長

昭和59年 7月 自治省事務次官

(昭和61年7月まで)

昭和62年11月 内閣官房副長官

(竹下、宇野、海部、宮澤、細川、羽田、村山の各内閣、平成7年2月まで)

平成 8年 4月 (財) 地方自治研究機構
理事長 (現職)

平成10年 6月 中央省庁等改革推進本部
顧問 (平成12年4月まで)

【主な著書】

『新地方財政調整制度論』ぎょうせい

『首相官邸の決断』中央公論新社

『市町村合併成功の秘訣』日本法制学会

■問い合わせ

市企画調整課 ☎934-2747



市民、地域、そして山口情報芸術センターを結ぶ架け橋

市民委員会ただいま活動中

山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」では、11月の開館に向けて、現在、さまざまな準備を行っています。

今回は、市民の自主的な文化芸術活動を支援する「山口情報芸術センター市民委員会」についてご紹介します。

市民委員会とは

市では、昨年の「見直し市民委員会」において、建設の是非や運営の方法など、市民の皆さんから貴重なご提言をいただき、「山口情報芸術センター基本計画」を策定しました。そして、この基本計画の中で、市民の皆さんの主体的な文化活動を支援するために必要な運営組織として位置づけているのが「山口情報芸術センター市民委員会」です。

委員は現在12名で、一般公募で選出された10名と市文化振興財団推薦の2名の方々が構成されており、任期は2年間です。

活動の内容は？

市民委員会は、市文化振興財団と協力しながら、市民の皆さんが

文化に親しみを持っていただけけるよう、また、自主的・創造的な文化芸術活動ができるよう活動を展開しています。

【活動内容】

- ① 自主企画事業の立案、制作及び実施
 - ② 公募企画事業の選考及び実施
 - ③ 山口情報芸術センターで開催される事業のサポート
 - ④ 各種情報発信及び情報収集等
- 現在、委員のみなさんは、週末毎にセンターに集まり話し合いをしています。間もなく、自主企画事業の概要が発表できそうです。

市民と地域、センターをつなぐために

市民の方々にセンターをより身近に感じてもらうため、文化芸術活動によるコミュニティを形成し、市民の皆さんと地域、そしてセンターとの架け橋となる市民委員会。

参加されている委員の方に、活動への抱負をお聞きしました。

副会長の白井裕貴子さんは、「この委員会には、これまで何らかの企画の立案

がある方はほとんどいません。しかし、そういう市民が意見を寄せ合いながら、一つの企画を作り上げていくことは意義のあることだと感じています。これから、市民の方に身近に感じてもらえる企画を立てていきたいですね」と話されました。



白井裕貴子さん

会長の富永欣也さんにお話をお聞きしました。

「現在は、研修を交えながら、一歩一歩手探りで活動を進めているところです。私たちは、専門家の集団ではありませんが、だからこそ、センターの特徴を生かしつ

つも、市民の目線に立った企画を立てることができないのではないかと思っています。また、この2年間で、委員の一人ひとりが企画力などを高め、任期後も自主的な活動ができる人材になってほしいと考えています」と笑顔で話されました。



富永欣也さん

市民委員会は、今、走り出したばかりです。委員の皆さんは、毎週のように集まり、市民の方楽しんでいただける企画を立てようとはりきっています。これからの市民委員会の活躍にどうぞご期待ください。

市民企画を大募集！

市民委員会では、山口情報芸術センターを利用して行う市民企画を募集します。皆さんの自由で創造的な企画をお待ちしていますので、ふるって応募ください。

◇対象となる企画 山口情報芸術センターの趣旨に沿った独自の企画で、市民の方が広く参加・入場できるもの ※詳細は募集要領を参照

◇公募対象者 山口市内及び周辺市町村を活動の本拠とする団体

及び個人 ※年齢制限は特にありませんが、18歳未満は保護者の了解が必要

◆支援内容 ①施設利用料(付属設備の使用料を含む)は無料、②制作経費の助成(上限20万円)など

◆利用可能日程

●スタジオA	
2004年 1月	28日(水)、29日(木)、30日(金)
3月	25日(木)、26日(金)、27日(土)、28日(日)
●スタジオB	
2004年 1月	4日(日)、5日(月)、7日(水)、8日(木)、9日(金)、10日(土)、11日(日)
●スタジオC	
2004年 3月	27日(土)、28日(日)

※応募希望者は、事前に施設の下見をお願いします。

※開館初年度につき、今年度は利用日が限られています。次年度からはまとまった日程になります。

◆利用可能時間 午前10時～午後10時

◆受付期間 8月11日(月)～9月13日(土)(平日のみ。ただし、最終日の9月13日は受付可)

◆申し込み 山口情報芸術センター

〒内市民委員会事務局

※募集要領・申込書は市文化振興財団に直接取りに来られるか、ホームページ

http://www.ycam.jp/

(8月11日から掲載)からダウンロードしてください。

山口市立図書館 図書館ボランティア募集

図書館活動に協力して下さるボランティアを募集します。

◆内容 書架の整理・点検、資料の装備や補修、図書館内外の美化、図書館利用案内、図書館企画事業への協力(点訳、音訳、おはなし会等)、図書館ボランティアの活動調整など

◆対象 山口市に在住、在勤、在学する18歳以上(高校生は除く)の方で、図書館サービスに興味と熱意のある方

◆研修 一定の研修を受講した後、ボランティアとして登録します。8月29日(金)と8月30日(土)に同じ内容の研修を行いますので、いずれかの研修会を受講してください。

◆申し込み・問い合わせ 8月18日(月)までに、往復ハガキまたはEメールに、〒住所、氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、応募の動機、希望する活動内容、研修会の参加希望日を明記の上、市生涯学習課図書館開館準備室(〒753-0007 5中園町7-7 ☎901-1040) Eメール toshokan@ycam.jp

山口情報芸術センターは、さまざまな人や作品などに会える場を提供していきます。近日、チケット発売の公演を紹介します。

フランス・ダンス03・フェスティバル参加
ドゥクフレ国際共同製作ダンス公演


アルベールビルオリンピックの開閉会式を演出し、その美しく幻想的なダンスで世界を魅了したフランス人振付家、ドゥクフレの新作。日本での公演は、横浜と山口のみです。

◆日時 11月1日(土)～3日(月・祝) 午後4時開演
◆入場料 A席4,000円、A席割引3,000円、B席2,000円
◆チケット エニー会員先行予約開始/8月25日(月)
予約 プレイガイド発売開始/9月1日(月)

フランス・ダンス03・フェスティバル参加
ダンス公演「ヘリコプター」「春の祭典」

フランスダンス界を代表する振付家ブレジジョカージュによる日本初公開の現代舞踊2作品です。


◆日時 11月18日(火) 午後7時開演
◆入場料 A席4,000円、A席割引3,000円、B席2,000円
◆チケット エニー会員先行予約開始/9月5日(金)
予約 プレイガイド発売開始/9月12日(金)



二兎社「萩家の三姉妹」

チューホフの名作「三人姉妹」をモチーフとした渡辺えり子主演の一癖も二癖もあるちょっと笑えるラブストーリー。

◆日時 ①11月12日(水) 午後7時開演
②11月13日(木) 午後1時30分開演
◆入場料 A席3,500円、A席割引2,500円、B席1,500円
◆チケット エニー会員先行予約開始/8月22日(金)
予約 プレイガイド発売開始/8月29日(金)
※13日の公演終了後、出演者によるトークあり。



イッセー尾形スペシャル in 山口

イッセー尾形によるひとり芝居。各地でチケット売り切れ続出の超人気公演が山口に初登場。しかもベスト版公演です。

◆日時 ①11月28日(金) 午後7時開演
②11月29日(土) 午後2時開演
◆入場料 A席3,500円、A席割引3,000円、B席2,500円
◆チケット エニー会員先行予約開始/9月10日(水)
予約 プレイガイド発売開始/9月17日(水)

【会場】 いずれも山口情報芸術センタースタジオA
【予約受付】 山口情報芸術センター ☎920-6111
【受付時間】 平日午前9時～午後5時
※各公演とも託児あり、詳細は問い合わせください。

【割引対象】 エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名
※割引の取り扱いは、山口情報芸術センター、市民会館、山口南総合センターのみ

問い合わせ……山口情報芸術センター／(財)山口市文化振興財団まで
〒753-0075 山口市中園町7-7 ☎901-2222 FAX 901-2216 Eメール info@ycam.jp

新産業、新事業創出に向け 産業コーディネーターを設置

市では、新産業や新事業創出に向けて、創業準備段階での環境づくりから創業後の事業展開に至るまでの競争力強化を図るため、8月1日、起業などの相談に応じる『産業コーディネーター』を設置しました。相談は無料ですので、気軽に利用してみてください。



事業活動を側面的に支援する産業コーディネーター

市では、起業やその後の事業展開において、さまざまなリスクのもと、意欲的に事業展開する人たちを積極的に支援していきます。このたび設置する産業コーディネーターは、事業計画の作成や市場調査、商品・技術の開発、販路拡大などの相談窓口になったり、起業家・企業・大学などの関連機関との連携を促したりするなど事業活動と側面的に支援します。

簡単に言えば、「会社をつくりたいけど、何から始めてよいかわからない」「新しい事業のアイデアはあるけど製品化する技術がない」など、困っている人にアドバイスし、適切な道筋を作ってくれるのが産業コーディネーターです。

8月1日、ニューメディアプラザ 山口2階に開設

産業コーディネーターとして、各種相談に応じるのは、6年前に山口市を拠点に情報関連の会社を起したキャスト株式会社。産業コーディネーター業務は、同社の分室「ニューメディアプラザ山口2階ITビジネスセンターやまぐち6号室（熊野町1-10）」で8月1日から行います。

コーディネーター業務は、専任コーディネーターの河津良一さんと補佐役としてキャスト(株)の社長でもある中村伸一さん

んの2人体制で行います。電話や電子メールでの相談も受け付けます。

◇問い合わせ 産業コーディネーター

河津、中村（キャスト株式会社内）

☎ 920-1357 ホームページ

<http://www.saikyo.jp/y-platform/>

Eメール y-platform@saikyo.jp

「自分が結びつけた人たちが満足できるように」

専任コーディネーターの河津さんは、長崎県出身で山口大学の学生の時から、ITコーディネーターとして、商店のIT化やお年寄りなどパソコンを使い始めた方のサポート業務を行ってきました。



河津良一さん

「企業間を連携する橋渡し役として、人と人との結び付けをしたいと思います。そのためにも、自分が積極的にまちに出ているような人と出会わないと。山口の人は、最初は壁を作るけれど、慣れると家族同然の付き合いができます。山口人の気質の良さを生かし、新しい事業展開が速やかにできる風通しのいい環境づくりを行っていきたいです。」

過去にパソコンサポートの仕事をしていた時、業者の対応について、個人商店経営者の不満をよく耳にしました。それは、解決にたどり着く適切な道筋を示せ

る人がいなかったからではないでしょうか。コーディネーターとして、自分が結びつけた両者が満足できるように努力していきたいです」と話してくれました。

「山口市内の企業の情報化を進めていきたい」

中村さんは、6年前に会社を起した経験や市産業振興ビジョン策定など各種委員を歴任し培った人脈や情報をコーディネーター業務に生かします。



中村伸一さん

「起業する人は、自分の経験からも、すべてを抱え込む人が多い。他人の能力、技術を借りることも大切であることを知ってもらいたいです。」

山口市は、公共機関のITの活用は活発ですが、民間のITの活用は消極的です。数年前までは、情報化といえば、ホームページを作ることでしたが、これからは顧客満足やコスト削減等を図るため、ITをうまく使うことが重要になってくるので、市内の企業の情報化を進めたい。コーディネーターは何でも屋ではないので、大切なのは、みなさんの意識を変えていくことだと考えています。今後、イベントの企画をするなど、人や技術の交流が容易にできる環境を構築していきたい」と話してくれました。

8月25日から第2次サービス開始

住民基本台帳 ネットワークシステム

問い合わせ 市市民課 (☎934-2771)

住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)は、住民票の情報のうち、4情報(住所、氏名、生年月日、性別)と住民票コード、異動情報により、全国共通の本人確認を可能とするシステムです。昨年8月5日の1次稼働に続き、8月25日からの2次稼働により、次のとおり新たなサービスが始まります。

■住民票の写しの広域配布

全国どこの市町村でもご自分の住民票の写しの交付が受けられます

現在、住民票の写しの交付は住んでいる市区町村でしか受けられません。住基ネット2次稼働後は、住民基本台帳カードや運転免許証など、本人確認できるものを市区町村窓口で提示することにより、本人や同一世帯員の住民票の写し(戸籍の表示を省略したもの)の交付が受けられるようになります。

■住民基本台帳カード

希望する方には住民基本台帳カードを市市民課窓口で交付します。交付手数料は500円です。

住民基本台帳カードを利用することで、カード内に記録されている住民票コードにより、住基ネットでの本人確認が確実にできます。そのため、他の市区町村での住民票交付時や転入転出届、パスポートなどの各種申請・届出時の手続き

が迅速に行えます。

■転入転出手続きの簡素化

住民基本台帳カードの交付を受けている場合、転出届を郵送で行うことにより、引越しの手続きで窓口に行くのは転入時1回だけで済みます

現在、引越しの場合には、まず住んでいる市区町村に転出届を行い、転出証明書を受け取ったうえで、引越し先の市区町村に転入届を行う必要があります。

住民基本台帳カードの交付を受けている場合、確実な本人確認ができます。このため、転出地に一定の事項を記入した転出届を郵送で行い、住民基本台帳カードを引越し先の市区町村の窓口で提出して転入届を行うことにより、引越しの場合の手続きが転入時の1回だけで済みます。

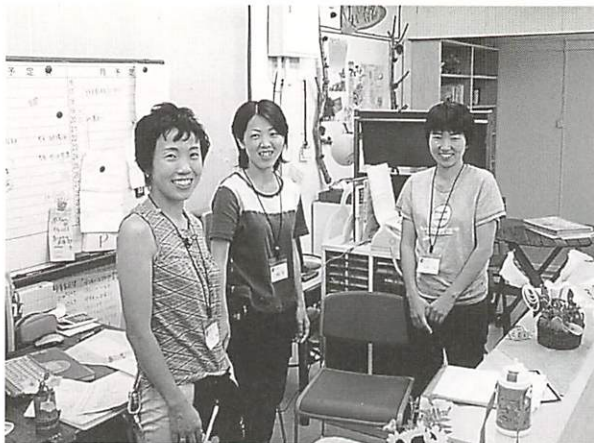
■今後も住基ネットですらに手続きが簡単になります

1次稼働以降、戦没者遺族等援護年金、共済年金受給者の現況届時や、パスポートの交付申請時に住民票の写しが不要となつていきます。今後は、国民年金・厚生年金の現況届や各種行政手続きの際に、住民票の写しの添付が不要になるなど、さらに手続きが簡単になるほか、公的個人認証サービスの秘密かぎ、電子証明書の保存用カードとして利用できる予定です。

住民基本台帳カード

- 希望者に交付します。交付手数料は500円です。
- ①写真なし、氏名のみ記載、②写真付き、氏名・生年月日・性別・住所を記載の2種類のいずれかを選択できます。
- 写真付きは公的な身分証明書として利用できます。
- 住基カードは高度のセキュリティ機能を備えたICカードを採用しています。





てとととスタッフの杉山さん、吉永さん、井出崎さん（左から）を含め、9名のスタッフすべてが同じ年代のお子さんを持つ母親なので安心です。

子育てほっとサロン「ほっとととと」オープン

まちも人も元気になる！ キーワードは「福祉でまちづくり」



7月12日、西門前商店街にほっとととと「てととと」がオープンしました。ここは、子育て中のお母さんやお父さんを支援する施設で、気軽に立ち寄ってみんなでおしゃべりしたり、育児相談や育児情報の提供を行うなど、お母さんたちにとってホッとひと息つける交流の場になっています。また、高齢者や障がい者の交流拠点として先にオープンしている、ほっとととと「まちのえき」や、市民活動支援センター「さぼらんて」と連携し、福祉に関する地域の身近な拠点を目指します。

西門前商店街を歩いていると、何やら子どもたちの賑やかな声が聞こえてきます。7月12日にオープンした、ほっとととと「西門前」てととと。

をしたりと、日頃は何かと育児に追われがちなお母さんやお父さんにとって、ちょっとひと息つける場所になっていきます。

本や紙芝居を楽しむことができ、子どもたちが元気に走り回っています。また、ベビーベッドも置いてあるので、安心して子どもを寝かせることもできます。次に、奥の部屋に入ると何やらいい匂いがします。お昼ご飯でしょうか。

ここは子育て中のお母さんたちを支援する施設で、運営は市が委託し、

また、スタッフのみなさんも同じ子どもを持つ母親ということでお母さんたちにとっても安心できる環境になっています。

「てととと」この部屋は休憩室です。お母さんたちが子どもと一緒に食事をしたり、ひと休みできるようなになっています。また、ここでは月に1回、お母さん同士の交流サロンを設けて、グループカウンセリングをしたり、子どもと一緒に楽しめる催しを行う予定です。」

NPO法人山口せわやきネットワークが行っています。

「てととと」は、子育て中のお母さんたちが気軽に立ち寄って、遊び場でも子どもを遊ばせたり、お母さん同士で楽しくおしゃべりしながら育児情報の交換

この他にも、「てととと」では、月に1回子育て支援者養成講座を開き、子育て支援スタッフとして活動してくれる方や、その輪をひろげていこうと思っています。

「てととと」は、子育て中のお母さんたちが気軽に立ち寄って、遊び場でも子どもを遊ばせたり、お母さん同士で楽しくおしゃべりしながら育児情報の交換

目に入るのは「つどいの場」と呼ばれるフロア。積み木などのおもちゃ、さっそく中に入ってみると、まず

「まちのえき」は、商店街を拠点に、市民活動支援センター「さぼらんて」と連携しながら、高齢者・障がい者や子育てといった福祉に関する地域の身近な交流拠点を目指します。また、市でも、このような基盤を整え、福祉の観点からまちの活性化、人の交流や元気を生み出せるまちづくりに取り組んでいきます。



「てととと」に先立ち、中市商店街には、高齢者や障がい者の交流拠点として、ほっとととと「まちのえき」がオープンしています。

少子高齢化が進み、私たちにあって福祉はますます身近な問題になってきます。これからは個人や家庭のみでなく、地域で福祉を支え合う受け皿が大切になります。「てととと」や「まちのえき」は、商店街を拠点に、市民活動支援センター「さぼらんて」と連携しながら、高齢者・障がい者や子育てといった福祉に関する地域の身近な交流拠点を目指します。また、市でも、このような基盤を整え、福祉の観点からまちの活性化、人の交流や元気を生み出せるまちづくりに取り組んでいきます。

ほっとととと「西門前」てととと
☎921-0428

ほっとさろん西門前「てとてと」

●つどいの場

お母さんたちが集まって、おしゃべりしたり、お茶を飲みながらくつろげるスペースです。子ども用のおもちゃや絵本、紙芝居などを置いていますので子どもと一緒に遊ぶことができます。

●子育てママ交流

「グループカウンセリング」などで子育ての悩みを相談したり、「育児雑誌を読む会」や「歌広場」などを開催して、お母さん同士楽しくリフレッシュできる交流会を開催します。

※月1回実施（会場は喫茶店、どうもんビルなど） 1回につき10人程度 会費は500円程度

●子育て関連情報収集や提供

育児サークルや子どもと一緒に参加して楽しめる催しの情報など、育児に関する情報を提供します。ホームページも開設していますのでご覧ください。（<http://www.c-able.ne.jp/~teto2/>）

●子育て相談事業

子育てアドバイザーが相談に応じます。また、簡単な身体測定も行います。

●子育て支援者養成講座

子育てに関心のある人や、将来子育て支援に関わるスタッフとして活動したい人や興味のある人を対象にした講座です。

※月に1回開催

●一時預かり事業

来年1月から、託児サービスを開始します。



絵本・紙芝居コーナー



ベビーベッド



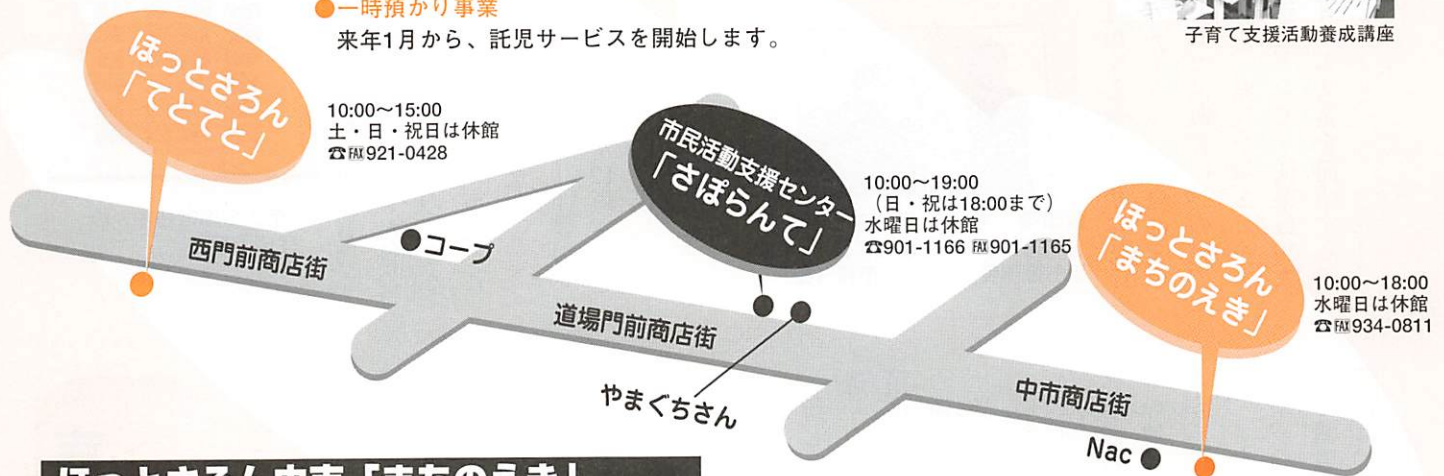
つどいの場



おもちゃコーナー



子育て支援活動養成講座



ほっとさろん中市「まちのえき」

●交流サロン

高齢者や障がい者の憩いの場としてだけでなく、商店街に来られた人たちがだれでも立ち寄ってくつろげる休憩所。福祉サービスの情報提供や簡単な相談を行います。

●電動スクーターと車いすの貸し出しサービス

高齢者や障がい者に、商店街で気軽に買い物を楽しんでもらうため電動スクーター・車いすの貸し出しサービスを行っています。また行動範囲をひろげて、商店街を散歩しながら交流を促進します。電動スクーター・車いすの試乗も行っていきますので、何でもおたずねください。

※電動スクーター3台 車いす4台（1回につき2時間使用できます）

●福祉用具や福祉住環境についての相談

専門講師が車いすなどの福祉用具から、屋内トイレや手すりなどのバリアフリー住環境の相談を受け付けています。

※原則、毎週火・金曜日に実施（10:00~15:00）

●まちの楽校事業

子どもからお年寄りまで、幅広い年代の世代間交流の場です。ストーク作り、ビーズ手芸、木工工作、墨でアート、粘土工作など、いろいろなことを体験・学習します。

※毎週土曜日に開催 10:00から

●まちの保健室・相談室

生活習慣病や健康相談など気軽に相談できるコーナーです。簡単な身体測定や血圧測定、体脂肪チェック、視力検査など保健師や看護師があなたの健康管理についてアドバイスします。



まちの保健室・相談室



まちの楽校（墨でアート）



交流サロン



まちの楽校（木工工作の様子）



電動カー・車いす貸し出しサービス

市内初「借上型市営住宅」が来年7月に完成予定

民間が建てた住宅を市が一括して借り上げ、市営住宅として活用する「借上型市営住宅」が市内に初めて建設されることになり、その起工式が、6月27日（金）東山二丁目の建設予定地で行われました。

この制度は市の都心居住プロジェクト事業の一環で、空洞化が進む市中心部の住宅供給を増やし、中心市街地活性化を図ることが目的です。市は民間活力を活用して公営住宅を確保でき、民間事業者



「借上型市営住宅」の完成予想図

にとつては、入居者募集や管理などは市が行うので、安定した賃貸住宅経営ができます。このようなことから、市・事業者・市民それぞれにメリットがあります。

建物は鉄筋コンクリート造りの7階建てで、2DKが12戸、3DKが12戸。来年7月に完成し、8月下旬から入居開始の予定です。

岩谷産業（株）が山口テクノ第2団地に進出

LPガス卸売の最大手、岩谷産業（株）が山口テクノ第2団地（佐山）に進出することが決定し、7月3日（木）市役所において、山口県の立ち会いのもと進出協定調印式が行われました。

岩谷産業（株）代表取締役社長 牧野明次氏は、「道路の利便性を踏まえ、進出を決めた。県と市の発展の一助となるよう、努力したい」とあいさつされ、調印後、市長と固く握手を交わされました。



調印後、握手を交わす岩谷産業（株）代表取締役社長（右）、県労働部長（中央）、市長（左）

同社が進出する敷地面積は約7000平方メートル。県央部を中心としたLPガス販売店への充てん・販売拠点、県内全域をカバーする営業拠点として、従業員29人で来年4月から営業を開始する予定です。

吉敷公民館・出張所が新しくなりました

国道435号線の拡幅に伴い移転建設を行っていた吉敷公民館・出張所がこのほど完成し、7月11日（金）に市や地元関係者らの出席のもと、落成式が行われました。



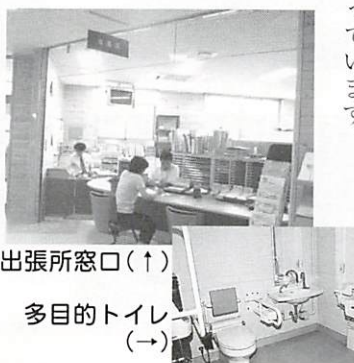
吉敷公民館・出張所の外観

新しい施設は鉄筋コンクリート造りの2階建てで、建物の延べ床面積は957平方メートル。公民館の建物としては市内で一番広い造りです。玄関を入ると、従来離れていた出張所と公民館の窓口が並び、ロビーには子ども用のスペースも設けられています。1階には

その他、カーペット敷でくつろぎながら読書ができる図書室、研修室、4つの流し台を備えた調理実習室、防音完備で多目的に利用できる講堂、湯沸場があります。2階には、茶道もできる講座室（和

室）、IT機器用配線などを備えた視聴覚室、会議室、講座室、湯沸場、そして小さいお子さんをお持ちの母さんにはうれしい授乳エリアがあります。

1階・2階どちらのトイレにもオストメイト対応の多目的トイレがあり、エレベーターも備え付けられています。駐車スペースは32台分あり、うち2台分が障がい者用となっているなど、だれでも気軽に立ち寄ることのできるよう、バリアフリーに配慮された造りとなっています。



出張所窓口(↑)
多目的トイレ(→)

施設は7月14日（月）から開館し、地域のコミュニティ活動の拠点として、また生涯学習の場として、地区民の方々に利用されています。

被害が急増しています ヤミ金融に ご注意ください！

○ヤミ金融とは？

貸金業規制法に基づく登録を受けていない業者、及び出資法の上限（29.2%）を超えた金利を取り、脅迫的な取り立てをする業者のことです。中には、10日で1～3割（年利365%～1,095%）以上の金利を請求されるケースもあります。

○被害の例

市内でも、多重債務や、以下のような被害が増えています。

「カラ貸し」…借りていない人に、電報などで債権回収の名目で返済を迫る

「押し貸し」…業者が勝手に口座にお金を振り込み、利息を取り立てる

○ヤミ金融被害に遭わない心得

ダイレクトメール・チラシなどでの「低金利一本化」「無審査即融資」などといった、甘い言葉の誘いに安易にのらないこと、住所や連絡先が不明な業者から簡単に借りないこと、などの注意が必要です。また、家族や勤務先などの個人情報をお教えしないことも大切です。

なお、借りてしまった場合でも、法外な利息は支払う必要はありません。困ったときや被害を受けたときには、以下の窓口にご相談ください。

○相談窓口

市地域生活課（☎934-2764）

山口警察署（☎924-0110）

小郡警察署（☎083-972-0110）

県弁護士会（☎922-0087）



「ヤミ金融特別相談室」を ご利用ください

県弁護士会の弁護士、県警察本部の相談担当、県消費生活センターの専門相談員らが共同して、専門的なノウハウを活かし、面接・電話で相談に応じます。

◇日時 8月19日（火）午前10時～午後4時

◇場所 中央県民相談室（滝町1-1県庁1階 ☎933-2572）

※相談は無料です。

※電話は、当日のみの開設です。



収納一口メモ

Q

以前、固定資産税の口座振替手続きをしているにもかかわらず、納付書が送られてきたのはなぜですか。

A

次のような場合には口座振替を継続することができないためです。

- ・納税義務者が亡くなられた場合
- ・共有名義（「外1名」など）と記入がある場合）の物件で共有者の構成や持ち分が変わった場合
- ・相続等で土地等の所有者名義

山口市税等口座振替依頼書



山口市税等口座振替依頼書

◇問い合わせ

市収納課管理担当（☎934-2739）

が変わった場合

改めて口座振替の手続きをされる場合には、通帳と届け出印をご持参の上、市内の金融機関、市内の郵便局の窓口及び市収納課（市役所1階）にお越しください。



福祉医療制度受給者の県外受診について

Q

県外で受診した際、福祉医療受給者証を窓口で提示しましたが、医療費の自己負担部分を請求されました。この支払った医療費が支給されるような制度がありますか。

A

福祉医療制度は、県単位で実施されています。県外で受診された場合、いったん病院等の窓口でお支払いいただくこととなりますが、福祉医療制度で助成できる部分については、市からの支給を受けることができます。市保険年金

課かお近くの出張所で医療費の支給申請をしてください。◇申請に必要なもの 福祉医療受給者証／健康保険証／印かん／預金通帳など振込口座の確認できるもの（郵便局は除く）／領収書

※ただし、必要事項が確認できない領収書（レシート等）では、市から支給できないことがあります。保険年金課または各出張所窓口にて県外受診用の領収書を備え付けていますので、事前にご確認ください（国民健康保険加入者及び老人医療受給者は除く）。◇問い合わせ 市保険年金課医療助成担当（☎934-2803）



「ルーツである韓国公州へ、次代を創るカギを見つけに行きませんか」

山口市と韓国公州市は、今年、姉妹都市締結10周年を迎えます。この記念の年に、公州市で開催される韓国三大祭りの一つ「百済文化祭」に市民参加訪問団として参加しよう、百済文化祭参加実行委員会が結成されました。民間として百済文化祭に参加するのは初の試みです。「次代を担う子どもたちと一緒に、次代を創るカギを探しに行こう」と、熱い思いを語る同会実行委員長入交知則さんにお話を聞きました。

まちのせわやき情報



国際交流サロン
in さぼらんて

青年海外協力隊OGの方が、クイズやゲームを交えて、海外の国のことを楽しく紹介します。ステキな民族衣装も用意していますよ！

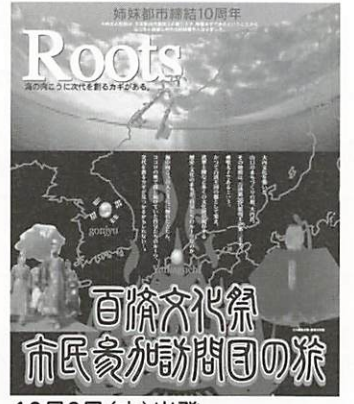
日時 8月21日(木)
午後1時30分～3時30分
場所 山口市市民活動支援センター「さぼらんて」
山口市市民活動支援センター「さぼらんて」
問い合わせ ☎901-1166

第2回子育て支援者養成講座
「子育ての神話について」

子育てに関心のある人たちのための全9回講座。1回ずつの参加もOK!

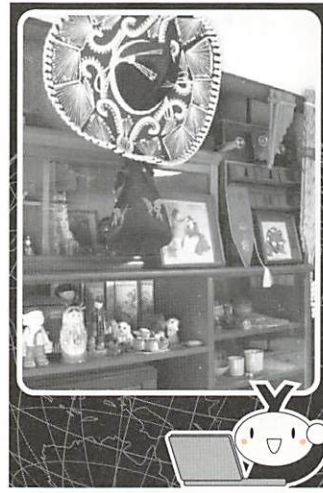
講師 赤羽 潔さん (山口県立大学教授)
日時 8月26日(火)
午前10時30分～正午
場所 西門前商店街 喫茶H2O
参加費 500円 ※託児要予約
定員 15人
問い合わせ 子育てほっとさろん「てとてと」 ☎921-0428

「ルーツ」とは興味深いですね。山口市は、大内氏の時代に都市形成され、その大内氏の始祖は百済の王子、淋聖太子であったと言われています。それがご縁で、百済の里であった現在



10月9日(木)出発
全3コース(2泊3日・3泊4日)
限定150名、現在参加者募集中!
■お問い合わせ
百済文化祭参加実行委員会事務局(担当/野坂)
☎ 925-2300
FAX 921-1555
Eメール nikkan@yamacci.or.jp

在の韓国公州市と山口市が姉妹都市縁組を結ぶことになったのです。次代を創るカギとは？現在、山口市は大内文化の薫るまちづくりを推進していますね。そこで、官民を問わずまちづくりに携わる人たちが、将来のまちづくりを担う子どもたちと一緒に、大内文化のルーツである百済の里を訪ね、公州市の人たちと文化・技術・芸術・力を誇りを持って語れるような体験をたくさんしたいですね。まずは今回の交流が新しい日韓の架け橋になること、そして、私たちが大内文化の薫る山口市の魅力を持つて語れるような体験をたくさんしたいですね。



山口的海外ツアー
Open House編



中野さんが在宅中は、見学はいつでもOK。ご希望の方は、やこねっとまで。
(☎901-1166)

この家の管理人(兼・ご主人)中野智昭さんは、まちづくり活動や国際交流活動を積極的に行っておられ、倉庫には留学生のためのストックヤードもあるとか。特に韓国は一番のお気に入り、文化や交流の話はもちろん、奥様からは自家製キムチの作り方まで教えてもらえます！



「一見、普通の農家型住宅であるこの古民家。ところが、一歩足を踏み入れると、韓国をはじめ、多国籍な文化を体感できる場所なのです。」
まちお見見 コレって何？
写真ideトリップ!



山口市リサイクルプラザ
☎ 927-7122 ☎ 927-7133

http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/
開館時間 午前9時から午後5時
資源物の受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝休日の翌日はお休みです

家庭で簡単にできる 生ごみリサイクル



燃やせるごみの量を減らす方法の一つとして、生ごみのリサイクルがあります。今回は、家庭から出る生ごみから堆肥を作っている3名のエコ倶楽部会員に、生ごみ処理機の利用方法、堆肥の作り方を聞きました。市の生ごみ処理容器の購入補助制度を利用するなど、あなたも、生ごみリサイクルに挑戦してみませんか。

臭いもせず、簡単にできる電動生ごみ処理機を使ったリサイクル

OさんとSさんが利用しているのは、微生物分解方式電動生ごみ処理機で（上写真）、処理機の中に、微生物の成育に適した環境を作り、生ごみを微生物分解する装置です。2人とも処理機を軒下に設置しています。微生物が入ったチップをいれ、中にある回転する棒やプロペラで定期的混ぜます。生ごみは、毎日投入して、2カ月に1度程度中身の半分を取り出して、チップを補充します。取り出した中身は、密閉した袋に入れ、2週間ほどおいて土と混ぜ、畑や庭に入れます。Oさんの庭先には、立派なきゅうりが育っていました。



Oさんの庭のきゅうり
によって異なりますが、1カ月500円程度、中に入れるチップ菌床は月400円になるそうです。

2人とも、説明書通りに作業を進めていることもあり、ほとんど臭いがせず、うまくリサイクルできていました。Sさんの場合は、電動処理機を購入して、食べ方に気をつけるようになり、買い物のときには、生ごみ処理のことを考えて、無駄なものを買わなくなっ

たとのことでした。また、燃やせるごみの袋から水分が出て困ることがなくなったなどの感想を話していました。

ぬかなどを上手に利用したコンポスト容器によるリサイクル

Kさんは、コンポスト容器を利用して堆肥作りをしています。庭の隅にあるコンポスト容器の中には、果物などの生ごみと一緒に枯れ葉やぬかが入れてありました。訪問したときは生ごみを入れ始めて6カ月経った時で、コンポスト容器の上段まで堆肥ができていました。微生物が活動しやすい環境をつくる枯れ葉やぬかが入っていることもあり、心配していた臭いもあまりしません。できた堆肥の影響でコンポストの周りには、青じそやキウイが元氣よく育っていました。



Kさんのコンポスト容器

果物の皮や野菜くずが大量に出たときには市の収集に出すなど、その時々に応じた処理を無理なくしているとのことでした。
エコ倶楽部では、現在、市からの委託を受け、「プチくるくる事業」として、生ごみリサイクルの研究等に取り組んでいますので、今後、その報告も行っていきます。（企画 やまぐちエコ倶楽部）

■8月のリサイクルアイデア講座（午前10時～正午） 〈いつでも参加できます。申し込みはいりません〉

古竹を使ったミニちようちん作り	2 (土)
和服のリフォーム	5 (火) 12 (火)
モラの手法を使った小物作り	5 (火)
パッチワーク (初級)	6 (水) 23 (土)
さき織り	7 (木) 21 (木) 28 (木)
押し花を使ったコースター作り	7 (木)
毛糸のリサイクル	8 (金) 22 (金)
牛乳パックでくず入れ作り	9 (土)
夏のモバイル作り	2 (土) 9 (土)
フラワーアレンジメント	9 (土) 23 (土)

夏休み子どもリサイクル講座	
あんでせん手芸	2 (土)
ケナフって何?紙すきをしよう	2 (土)
木で遊ぼう	10 (日)
さき織り	23 (土)
牛乳パックでトラック作り	24 (日)
トールペインティング	3 (日) 30 (土)

※古竹を使ったミニちようちん作り、パッチワーク (初級) は、午後1時～3時

※持参するものなどの詳細は、市リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

●衣類の持ち込みは毎週日曜日午前9時～午後3時

■8月のフリーマーケット

◇日時 8月10日 (日) 午前9時～午後3時 (雨天中止)

※おもちゃの病院もあります (受付は午前10時～11時30分)。

※9月のフリーマーケットは、9月14日 (日)。出店の申し込みは、8月15日 (金) 午前8時30分から受け付けます。出店共益費は300円です。



旧軍毒ガス弾等に関する情報をお寄せください

最近、旧軍毒ガス弾等による健康被害が発生しています。このような被災事故の防止のため、情報を収集しています。終戦時における旧軍毒ガス弾等の保有や廃棄及び戦後における旧軍毒ガス弾等の発見・被災・処理に関して情報の提供をお願いします。

◇連絡先 8月20日(水)までに県環境政策課化学物質対策班 (☎933-3034 FAX 933-3049)

山口市役所 〒753-8650 龜山町2-1

老齢福祉年金を受給している方へ

平成15年度8月期の老齢福祉年金の受け取りは、8月11日(月)からです。国民年金証書と受取印を持参し、指定の郵便局でお受け取りください。

なお、8月は前年の所得により今後の年金支給額の審査・決定を行い、12月期と4月期の年金額を記入します。8月期の年金を受け取ったらずくに受取印を持参し、市役所年金窓口または各出張所に年金証書を提出してください。

老人医療定期判定のお知らせ

老人医療受給者の方には、所得に応じて医療費の1割または2割の負担をいただいておりますが、8月1日より平成14年中の所得状況により負担割合を再判定します。8月から負担割合が変更になる方には、新しい医療受給者証を7月中旬に送付しています。必ず同封の返信用封筒で古い医療受給者証を送り返してください。古い受給者証をそのまま使うと、医療費を追加請求することもありますので

ご注意ください。

なお、送付していない方は負担割合に変更がありませんので、現在お使いの医療受給者証で引き続き受診してください。

「2割負担の老人医療受給者の所得基準」課税所得が124万円以上の老人医療受給者/課税所得が124万円以上の老人医療受給者及び70歳以上の方と同一世帯の老人医療受給者※右記以外の方は1割負担

ふるさと体験教室

市生涯学習推進本部では、「ふるさと再発見」をテーマにした体験教室を開催します。親子でふるさと山口を体験してみませんか。

日時	内容	場所
8月23日(土) 午後1時30分～4時30分	やまぐちの種物で 草木染めをつくろう	山口ふるさと 伝承総合センター (下堅小路12)
9月6日(土) 午前10時～ 午後2時30分	やまぐちの友好都市 「中国・済南市」を体験しよう ～料理・遊び～	湯田公民館
10月25日(土)	やまぐちの海を体験しよう ～漁業体験 他～	山口湾等 (山口漁協周辺)

※10月25日は午前9時市民会館小ホール前出発、午後4時着(マイクロバスでの移動となります。)
●全回通しての参加となります(費用は無料)。
●天候等で内容を変更する場合があります。

◇対象 小学生と保護者40人(先着順)

◇申し込み・問い合わせ 8月4日(月)から市生涯学習課(☎934-2865)

山口市人権学習講座

平成15年度山口市人権学習講座(全10回)のうち4～6回の募集を行います。

日時・場所	内容	講師名
4 8月26日(火) 午前9時30分～11時30分 大蔵公民館	・講義「障害とは…?」 ・自由討議	山口県立大学看護学部 教授 林 隆氏
5 9月9日(火) 午後1時30分～3時30分 湯田公民館	・講義「医療はだれのもの? インフォームド・コンセントと自己決定」 ・自由討議	山口県立大学社会福祉学部 講師 正司 明美氏
6 9月26日(金) 午前9時30分～11時30分 湯田公民館	・講義 同和認識のキーポイント「同和」へのアナタの心の3段階 ・自由討議	山口大学人文学部 講師 北川 健氏

※定員は各30人です。

◇申し込み・問い合わせ 8月20日(水)までに電話またはFAX

Xで市人権推進課(☎FAX 934-2867)

平成16年3月採用自衛官募集

募集期間

8月4日(月)

～9月10日(水)

◇問い合わせ 自衛隊山口募集案内所(中央四丁目4-11 ☎925-8231)

募集種目	応募資格	試験日
一般曹候補生	18歳以上24歳未満の者	9月20日(土)
曹候補士	18歳以上27歳未満の者	
航空学生	高卒(見込可)21歳未満の者	9月23日(火・祝)
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満の者	男子 9月30日(火) 女子 9月26日(金)～27日(土)

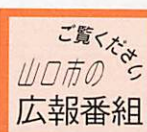
山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

午前7時45分(月・木・日)、午後零時15分(水・土)、午後6時15分(火・金)、午後10時(月・木・日)から20分間放送。

- 1日～15日「山口市ニューススポーツ大会」
- 16日～31日「女みこしも巡行、山口祇園祭」

やまぐちしま専科 (山口朝日放送)

- 毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。
- 6日「エコライフしま専科」
- 13日「バリアフリー浴衣で祭へGO！」



8月の放送
予定です

- 20日「栗林和彦の萩往還を歩こう②」
- 27日「世界少年野球大会」

わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

- 毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。
- 3日・10日・17日
- 「市の職員がホットな話を出前します 『お気軽講座』」

- 24日・31日
- 「ご利用ください、移動図書館『ぶっくん』」

不審電話にご注意ください

最近、市保険年金課の職員を名乗り、勤務先などの個人情報を尋ねる電話が多発しています。市保険年金課では、国民年金等で未届けの方や免除申請についてのご連絡はしていますが、必要以上の個人情報を尋ねることはありません。不審に思われたら、即答せずに市保険年金課(☎934-2802)までお尋ねください。

資源物の中から危険なものが見つかりました

6月に収集された資源物の中から刃物などが発見されました(缶の中に数十本のカミソリ、紙製容器包装の中に割れたガラスコップ)。リサイクルプラザでは、収集した資源物の異物を人の手によって取り除いているので大変危険です。

カミソリや割れたガラス等は、「危険」と表示して不燃ごみに出してください。

◇問い合わせ 市環境保全課
(☎934-2777)

夏の「湯の町文化祭」 スペインの風

湯田温泉の街角で毎日午後9時から、フラメンコ、スペイン料理の試食会など日替わりのイベントが開催されます。

◇期間 8月1日(金)～20日(水) ※6、7日は休み
◇問い合わせ 湯田温泉旅館協同組合(☎920-3000)

コミュニティバス学割回数券有効期限延長

現在販売しているコミュニティバスの学割回数券(小・中・高校

山口七夕ちょうちんまつり 8月6日(水)、7日(木)

6日

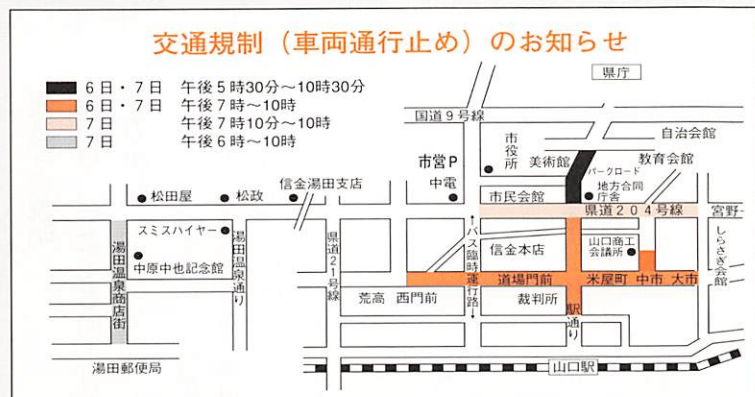
- 午後6時～10時
総踊り「やまぐちMINAKOIのんた」(固定踊りの部)
(新亀山公園、市役所前庭他)
- 午後7時から
すだれちょうちんの点灯(市役所前)

7日

- 午後6時から
YABステージショー(新亀山公園お祭り会場)
- 午後7時から
ちょうちんツリーの点灯(裁判所前)、
湯田温泉商店街イベント
- 午後8時～9時
御輿、新山笠の巡行(パークロード、新町～駅通り)

6、7日両日

- 午後6時から
レストコーナー、カーコーナー
- 午後7時から
市民によるちょうちんミニツリーの点灯(裁判所前他)
- 午後7時30分から
紅ちょうちんのトンネルの点灯(商店街、駅通り)



問い合わせ 山口ふるさとまつり実行委員会
(☎932-3456)

生対象)の有効期限は、9月30日までとなっていますが、コミュニティバスの実証運行期間にあわせて有効期限を平成16年3月31日までとします。

◇問い合わせ 市行政推進課(☎934-2666)

森林ふれあいまつり

◇日時 8月23日(土) 午前9時～午後4時

◇内容 もちまき、木工品販売、木工教室、アユ・ウナギのつかみ取り、積み木積み競争など

◇場所・問い合わせ 山口森林

ふれあいセンター(大内長野1978 ☎927-2039)

「交通安全ファミリー作文」を募集します

交通安全について考えたこと、交通安全につながる独自の工夫などを作文にしてみませんか。

◇応募区分 小学校低・中・高学年の各部/中学生/父親・母親、

一般/高齢者(65歳以上)

◇応募方法 400字詰め原稿用紙に、小中学生は3枚以内(題

名、応募区分、〒住所、氏名ふ

りがな、学校名、学年、学校の〒住所・電話番号を記入)、父

親・母親、一般、高齢者は5枚以内(題名、応募区分、〒住所、

氏名ふりがな、年齢、職業、電話番号、応募の動機を記入)

◇応募先 9月10日(水・消印有効)までに(社)日本交通福祉

協会交通安全作文募集係(〒101-0002 東京都千代田区

外神田2-2-17共同ビル)

◇問い合わせ 市地域生活課(☎934-2765)



健康づくりしませんか

健康づくり街頭キャンペーンが市内のショッピングセンターで行われました。キャンペーンに訪れた方々は、血圧測定をしたり、健康や食生活について日頃の疑問や悩みを保健師に気軽に相談していました。(7月13日)



本番さながらの救助訓練

水難事故に対応するため、山口地域消防組合水難救助隊による潜水器具等を使用した水中搜索訓練が錦鶏湖(一の坂ダム)で行われました。当日は、山口県消防防災航空隊、ヘリコプター「きらら」との合同訓練も実施されました。(7月8日)



ふるさとの川をいつまでもきれいに

榎野川水系クリーンキャンペーンが榎野川漁業協同組合などの主催で行われ、市民や関係者など多くの方が参加しました。川沿いの道路や河川敷を歩くと、缶やびん、紙くずなどがたくさん落ちていました。将来にわたりきれいな川を受け継ぐためにも、ゴミを捨てない心構えが大切です。(7月13日)



電動スクーターで楽々お買い物

高齢者や障害者に買い物を楽しんでもらうため、7月13日からタウンモビリティ事業、電動スクーターや車いすの貸し出しを「ほっとさろん中市」で開始しました。合志市長の電動スクーターの試乗で始まったオープニングイベントは、講演会やシンポジウムなど、誰もが楽しめる商店街(まち)づくりについて、みんなで考えるよい機会になりました。(7月13日)

表紙写真説明

総踊り「やまぐちMINAKOのんた」

7月24日(木)、山口祇園祭の中日を飾るイベント、総踊り「やまぐちMINAKOのんた」(大内の殿様・練り歩き部)が開催されました。

当日は、さまざまな衣装に身を包んだ子どもからお年寄りが多数参加し、踊りながら、市の中心商店街を練り歩きました。

楽しく踊る人、踊りに集中する人、踊りの途中で知人に再会し喜ぶ人など様々でしたが、そこには、踊る人も、観る人も楽しい、この夏の「総踊り」がありました。

編集後記

「夏」真つ盛り。夏祭り、海水浴、花火大会、キャンプ、旅行…。私自身の夏休みを回顧すれば、楽しかった数多くの情景が浮かんでくる。▼夏休みを前にして、子どもたちが巻き込まれる事件が発生した。▼今年の夏休み、子どもたちが充実した楽しい思い出に出会えるとともに、それぞれの地域や家庭の強い絆の中で「生命」や「思いやり」の大切さを改めて実感してほしいと願うものです。